

2020年6月11日
日本生命保険相互会社

民間企業 19 社で構成する「ESG 情報開示研究会」の発足と参画について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、このたび、2020年6月下旬に発足予定の一般社団法人 ESG 情報開示研究会（以下「当研究会」）に参画することを決定しました。当研究会は、発足時点で民間企業 19 社で構成し、社会の持続的な発展と、企業が自らの価値を高め成長することを調和させる仕組みの創造を目指し、ESG 情報開示に関する研究活動を行います。当研究会の代表理事には、青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授北川哲雄氏が就任し、研究を監修する座長を兼務します。

当社は、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、環境問題の解決や社会貢献に資する ESG 投融資を積極的に実施しています。ESG テーマ投融資の数量目標を設定しているほか、投融資判断に ESG 的要素を加味するインテグレーションや ESG 課題も含め対話を行うエンゲージメントなど、さまざまな投融資手法を活用し、ESG に関する取り組みを推進しています。当研究会への参画は、当社の ESG 投融資の取り組みを一層深めるものと考えています。

今後も、ESG 投融資に関する取り組みを強化することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。



<一般社団法人 ESG 情報開示研究会の概要>

■発足時の参画企業(50音順)

| | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 味の素株式会社 | アセットマネジメント One 株式会社 |
| EY Japan | 花王株式会社 |
| KDDI 株式会社 | KPMG ジャパン |
| ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 | ゴールドマン・サックス証券株式会社 |
| 株式会社セブン&アイ・ホールディングス | SOMPO ホールディングス株式会社 |
| 武田薬品工業株式会社 | 有限責任監査法人トーマツ |
| 東京電力ホールディングス株式会社 | 日本生命保険相互会社 |
| PwC Japan グループ | 株式会社日立製作所 |
| 株式会社みずほフィナンシャルグループ | 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 |
| 株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ | |

■設立の背景と狙い

近年、資本市場において、環境・社会・ガバナンス(ESG/Environment, Social, Governance)の観点で投資判断評価を行う ESG 投資が活発化しており、また、企業では ESG に関する情報開示や機関投資家をはじめとするステークホルダーとのエンゲージメントを効果的かつ効率的に行うことが課題となっています。当研究会は、ESG 情報開示・エンゲージメントのさらなる発展に向け、情報開示のための指標の検討やステークホルダーが参画するプラットフォーム構築などのインフラを整備することで、企業とステークホルダーの相互理解を深め、ESG に取り組む企業の企業価値向上に貢献することを狙いとしています。

■活動内容

当研究会は、ESG 情報開示を行う企業だけではなく、国内外の機関投資家や監査法人・会計事務所グループのプロフェッショナルなどさまざまなステークホルダーが参加することで、ESG 情報開示のあり方を多様な視点から検討します。また、実務に活用可能な実践的なフレームワークの作成を目指し、机上の検討に留まらず、実際の情報開示業務に沿った実証まで行うことを予定しています。

具体的には、従来の ESG 情報開示の国際的なフレームワークでは評価の難しかった日本固有の特色などを加えたモデル指標の探究や、効果的かつ効率的な情報開示・エンゲージメントを行うためにどのようなインフラを整備すべきかについてまとめていく予定です。

研究活動の期間は2年間を予定しており、研究成果はホワイトペーパーとしてまとめ、国内外の企業・機関投資家などに広く活用してもらうために公表します。研究期間中は、研究成果を紹介するイベントや情報発信を積極的に実施するとともに、参加者も随時募っていきます。

以 上